

山梨県神社庁報

かみかね

祝祭日には国旗を掲げましょう



9月21日 敬老の日
9月22日 国民の休日
9月23日 秋分の日
10月12日 体育の日

第170号（平成27年7月20日）



住吉神社「^{おん} ^た ^{さい}御田祭」

| | | | |
|-------------------|------------|------------|--------------|
| 神社本庁青葉会議 | P2~3 | 外郭団体 | P11~12 |
| 神宮崇敬会・神政連 | P4~5 | 祭典を齎行して | P13 |
| 美しい日本の憲法を作る山梨県民の会 | P6 | 支部だより | P14~15 |
| まんが古事記「うみさちやまさち」 | ... P7~10 | 祭典日程・今後の予定 | P15~16 |

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道徳の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて向うところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩
とに感謝し、明き清
きまことを以て祭祀
にいそしむこと

一、世のため人のために
奉仕し、神のみこと
もちとして世をつく
り固め成すこと

一、大御心をいただきて
むつび和らぎ、国の
隆昌と世界の共存共
栄とを祈ること

五月定例評議員会報告

本庁評議員 深澤哲夫

神社本庁の平成二十七年五月定例評議員会が五月二十一日・二十二日の両日開催され、平成二十七年年度一般会計歳入歳出予算案、本庁事務所組織規程の一部変更する(神社本庁機構改革)規程案などを可決しました。

評議員会は二十一日午前十時に開催し、冒頭、北白川道久総理が挨拶、大東亜戦争終結七十年に当たり、今年四月八・九日の両日、天皇・皇后両陛下がパラオ共和国行幸啓遊ばされたことを挙げ、神社界でも改めて先人の遺徳を偲び、その思いを次の世代に伝える必要性を語られました。

又、第六十二回式年遷宮の諸祭・諸行事が、三月、風宮を以て完遂されたこと、さらに「全国各地の過疎化・少子高齢化の進行によって斯界を取り巻く状況はますます厳しさを増している」と述べ、神社本庁憲章の精神のもと全国神社の興隆と、より良い社会の実現に向けて一層の努力を重ねたいと述べられました。

来賓の鷹司尚武神宮大宮司、長曾我部延昭神道政治連盟会長がそれぞれ祝辞を述べられた後、議事に入りました。始めに田中恆清総長が登壇して平成二十七年年度庁務方針の概略を説明。

神宮大麻・暦頒布について、地域社会が大きく変化する中、今年度から実施されている「三か年継続神宮大麻都市頒布向上計画」が実りあるものとなるよう各神社庁と連携を深めて取り組めます。

終戦七十年の今年は靖國神社・護國神社への参拝勸奨等、英霊顕彰事業に引き続き取り組みとともに、憲法改正の気運が揚る中斯界を挙げて改正実現に向けた諸施策に取り組んでまいります。

平成二十七年年度一般会計歳入歳出予算案総額は四十九億八千五百五十一万円で、前年度比百七十六万円の減、歳入では新年度は神社本庁設立七十周年にあたることから、記念事業に伴う関係費として設立七十周年分担金(各神社庁負担金の1割)が

単年度負担として計上されました。

また、神社本庁機構改革では、本宗奉賛部、秘書部、総務部、財政部、渉外部、教化広報部(教化部+広報部)、総合研究部(総合研究部+祭務部)の九部から七部に機構改革されました。

最後に田中総長挨拶の結びで紹介して私の報告とします。

『昨今、社会の変化は著しく、人々の価値観も多様化し、神職の意識も大きく変化しているように感じます。こうした中、いよいよ次年度は神社本庁設立七十周年の節目を迎え、本執行部の最終年度となります。昨年五月の定例評議員会でも申し上げましたが、神社本庁においても時代に即した制度を確立すべく、様々な問題を察知し改革に取り組んでおります。この先の設立百年に向け、神社本庁のあるべき姿を確立してゆくために、一歩一歩歩みを進めていく所存です。結びに、時局重大な折柄、斯界発展のために今後とも一層御尽力下さいますようお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。平成二十七年五月二十一日 神社本庁総長 田中恆清』

青葉会議に参加して

山梨県神社総代会 会長 中 込 豊 秋

五月十九日定例代議員会（全国総代会長三村明夫、日本商工会議所会頭）挨拶。〃四月八日（九日、天皇、皇后両陛下にはパラオ共和国行幸啓を拝し改めて英霊顕彰等を展開していきたい旨や、遷御の儀がすべて齎行されたことへの慶賀の意を示した。なお内外多難な折こそ我々総代は国の隆昌に寄与しなければならぬと語った。その後諸議案、説明あり審議の末、総て承認された。第五十一回全国神社総代会大会が、九月十日滋賀県大津市で開催が決定された。

二十日神社本庁表彰式、明治記念館にて開催。池田厚子神社本庁総裁ご臨席のもと。神職、総代二百六十人が表彰され、本県より市川行治（表門神社宮司）、上文司 厚（北口本宮富士浅間神社宮司）、佐々木三郎（同神社責任役員） 三氏が表彰の栄に浴した。

二十一日、定例評議員会。北白川道久総理のご挨拶、来賓祝辞、引続いて田中恆清総長より二十七年年度方針が示された。

(一) 神宮崇敬、皇室敬慕の念を涵養するための活動推進。

(二) 靖國神社、護國神社参拝運動。

(三) 祭祀の振興と鎮守の森の保護育成を通じ青少年の健全育成。

(四) 国旗、国歌及

び祝日の意義啓発。(五) 日本国憲法の改正。(六) 神道の精神に基づき、地域社会再生。

(七) 適正な神社運営を図り、神社の奉護に努める。実践目標七項目。特に祝日については、国旗及び国歌に関する法律、制定以降、教育現場では入学式、卒業式に国旗を掲揚し国歌を斉唱する姿が定着しつつある。一方祝祭日に国旗を掲げる家庭が少ないことも否めない」と指摘された。

本県は更に掲揚活動に関係者各位と共にその実をあげて参り度い。

午後三時より、全国総代会長四十七名、靖國神社に参拝。参集殿に於いての説明によると、現在二、四六六、〇〇〇余柱が祀られており、その中には軍人ばかりでなく、明治維新のさきがけとなって斃れた坂本龍馬、吉田松陰、高杉晋作の幕末の志士達をはじめ、救護活動された従軍看護婦、軍需工場で亡くなった学徒などの民間の方々、又日本人として亡くなられた台湾、朝鮮半島出身者やシベリア抑留中死亡された、軍人、軍属、祖国に殉じられた方々が一律平等に祀られている。総て「祖国に殉じられた方々」その内容を知り胸にせまる思いでありました。

二十二日最終日、特筆すべきは、加藤治樹評議員（石川県）「今年度より地方教育法が変り、地方自治体の首長権限が強化されたことで、教育基本法に則った教科書を採用されるよう要請する」国民が今のままの憲法ではよくないと思えるような教科

神社本廳表彰を受けて

峡南支部 支部長 市川 行 治

書が作らなければならない。と述べた。憲法改正を実現する上で教科書が重要な役割を担うと思ふ。

平和国家日本の継続を願う者として改めて、その思いを強くした、意義ある青葉会議でありました。

神社本廳の表彰規程に基づきまた、山梨県神社庁表彰内申定数神職二名神職以外三名の枠の中で、功績顕著な諸先輩を差し置いて、平成二十六年九月の神社庁役員会において、北口本宮富士浅間神社上文司厚宮司とともに表彰候補者にご推薦を頂きました。

私には元よりさしたる功績もなく、晴れがましい表彰等辞退したい旨を申し上げましたが、慣例とのことであり、ご推薦を頂くことになりました。

二十七年四月に神社本廳統理から二月三日の本庁設立記念日に表彰した旨の通知と五月二十日に明治記念館での表彰式への参加の要請通知を頂きました。

当日は、一時からの記念写真撮影から始めるため、十二時半頃に会場入りしました。

山梨県の席は、広い会場の中で最前列から三番目であり、池

田厚子総裁も間近に感じられるほどでした。

表彰式では、出雲大社の千家宮司を始め太宰府天満宮の西高辻宮司等著名神社の宮司に混じって表彰され感慨も一入の表彰式でした。

表彰式の後には、根津庁長様や役員理事の皆様のご厚意により東郷記念館で祝賀会を開いて頂きました。

拜殿に於いて正式参拝の後、宴会場でご丁寧なご祝辞や東郷ビール、また美味しい食事を頂きました。皆様のお心遣いに改めて感謝申し上げます。

この表彰を機に、神明奉仕と神社の維持管理、山梨県の神社界の発展のため微力を尽くして参りたいと考えております。

末筆ながら庁長様を始め諸先輩の御健勝ご活躍をご祈念申し上げます。

神政連創立四十五周年記念大会報告

神政連山梨県本部 幹事長 渡邊 平一郎

神道政治連盟は、結成四十五周年を迎え、六月三日記念式典と神道政治連盟・神道政治連盟国会議員懇談会結成四十五周年記念合同祝賀会が東京都千代田区のホテルニューオータニで開催された。

午後四時三十分、後藤副会長の開会の辞の後冒頭、安倍総理がフイリピンのアキノ大統領が国賓として来日している最中、公務の合間を縫って登壇し、「神政連関係者の尽力に感謝し、神道が持つ日本の精神を大切にしたい」と祝辞を述べた。総理の公務の都合により順不同であったが続いて国歌を斉唱し次第に順じた。

服部総務会長の宣言綱領唱和の後、長曾我部会長が、一昨年の第六十二回式年遷宮における内宮の遷御の儀に安倍総理が、八十四年ぶりに現役の総理大臣として参列し、十二月には靖國神社に参拝したことの意義を述べ、神政連が推薦する単独候補の山谷、有村両大臣の誕生の喜びと「憲法改正なくして真の日本の再生なしとの強い意志の

と各県本部や地方議員連盟のさらなる拡充に期待し、神道政治連盟を結成した先人の志を受け継いでその実践に努めたい」との決意を述べた。

続いて来賓祝辞では、神社本庁統理代理の田中恆清総長、神宮大宮司代理亀田幸弘禰宜、徳川康久靖國神社宮司、山谷えり子国務大臣、下村博文文部科学大臣がそれぞれ挨拶した。

来賓紹介に続いて表彰が行われ、当県本部では、稲葉政愛元山梨県本部長、高原左門副本部

長、秋山忠也議長、萱沼孝之常任委員長、そして山梨県本部が表彰を受けた。被表彰者を代表して、長年に渉り神政連の役員として尽力し特別表彰に浴した宮崎義敬顧問が謝辞を述べた。

綿貫顧問の聖寿万歳の後、吉田副会長の閉会の辞により式典を閉じ、桜井よし子氏による記念講演に移った。講演で氏は「日本人としての価値観は、神道こそ本来の価値観であり、皇室の歴史と共に国が発展しその根底にある価値観が十七条の憲法であり五箇條の御誓文が生れた」と述べた。講演が終って合同祝賀会が開かれ、各県本部が持寄った地酒を堪能した。

神政連規程表彰を受けて

神政連山梨県本部 議長 秋山 忠也

顧みれば神道政治連盟は昭和

四十四年十一月八日「皇室の尊厳を守り神道精神を国政の基礎に」を綱領に掲げ斯会の総意で結成された。翌年、神道政治連盟国会議員懇談会も結成され、本年四十五周年を迎え、記念式典と合同祝賀会が六月三日都内

に於いて開催された。

混沌とした昭和の過渡期な年に政治結社として結成され様々な事案に取り組み活動を重ねて来られた先輩諸兄に思いをいたし改めて思うことは、他の様々の業界団体や宗教団体などが夫の利益を追求するための政治

団体であるのに対し神社界を母胎に発足した政治団体でありながら神社の直接利益に繋がる様な運動は一切せず日本の伝統を固守し、皇室の尊厳をたかめ日本人の精神をたかめる運動を中心に展開してきた。そして激動の時代、様々な変遷を経て今は国家の基本的な問題を多くの会員と共に力を合わせて実現して行く国民運動団体に生まれ変わった。

世の中は変革の時代を迎え神政連の活動は益々重要となる中で今回図らずも表彰の栄を受け改めて会員一人一人の活動の重要性を感じた。

未来の日本の為に神道政治連盟の宣言、綱領の克服に向けてさらなる努力を重ね諸問題に、とりわけ憲法改正なくして真の日本再生はなしとの強い思いで取り組まなければならない。

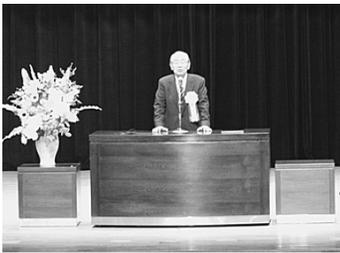
合同祝賀会には山梨県所属の国会議員懇談会より宮川典子、中谷真一、堀内詔子、森屋宏の各氏の衆参議員、地方議員連盟より皆川巖、山下政樹、大柴邦彦の各氏県議が出席、県内出席者と結成四十五周年を祝い今後なお一層の関係強化を図るべく懇親を深めた。

美しい日本の憲法をつくる 「山梨県民の会」設立大会報告

神政連山梨県本部 本部長 佐々木 幸 永

七月二日準備会を開いて横内正明氏（前山梨県知事）を会長に選出。七月八日前原昇副会長開会の辞、国歌斉唱の後、設立経緯・活動方針・会則の説明・役員紹介・次に横内会長挨拶。憲法改正は大きな人生の課題である。占領時代極めて抑制的な不正常の状態の中で押し付けられたものである。日本国の最高法規であり最も美しい日本語でなければならぬ。不磨の大典ではない・情勢は常に変化している。国民の生活に相応しいものに改正する。国会を動かす為皆さんと力を併せて取組みたい。赤池誠章参議院議員、憲法改正は政治活動の一丁目一番地です。国際関係は不安定な状態にあり公海上では国防の戦いはできない。憲法は国家権力を規制するものである。改正できるよう参政権を駆使して戴きた。望月清賢山梨市長、国土と生命を守る事が最重要課題であり自らの力で守らなければならなくなっている。国民が安心して生活できる為に来年新憲法が制定出来るよう努めてまいりたい。皆川巖県議会議員、尊

敬して居る横内前知事が会長に就任され心強く思っている。去る六月三日神道政治連盟設立四十五周年記念大会に出席し桜井よしこ氏より、分かりやすく感動的な素晴らしい講演を賜り憲法改正の必要性を痛感致した。所属議員の先頭に立って取組んで行くことをお誓い致す。来賓者を代表して三氏より祝辞を賜り、続いて神道政治連盟山梨県本部幹事長渡邊平一郎より「設立宣言」案の発表、満場一致で採択された。第二部記念講演。「今こそ国民の手で憲法改正を」講師 百地章氏（日本大学法学部教授・美しい日本の憲法をつくる国民の会幹事長・民間憲法臨調事務局長）理路整然として分かりやすく機知に富んだユーモアを交え、心深く染み入る崇高なる講演であった。



日本会議総会

日本会議山梨県本部 会長 前原 昇

平成二十七年七月二日に日本会議山梨県本部の総会を山梨県神社庁で開催した。来賓に根津山梨県神社庁庁長・佐々木神道政治連盟山梨県本部本部長・小佐野神社庁副庁長・宮本山梨県議会議員・向山甲府市市議會議員・この両議員は今回の選挙で初当選し選挙の前から日本会議の趣旨に感銘し会員になっていただいた。来副会長の開会の辞より総会を開始した。次に前原会長より山梨県本部が抱えている重要事項二点について説明とお願いをした。山梨県本部の十七年前の創立総会は約千三百人の賛同者が集結し盛会に開催された。その後、四百人ほど会員になって頂いたが年々減少が続く。今現在は全国で下位の状況である。会長として関東ブロック代表者会議に出席しても肩身の狭い思いである。皆様の一人一人が友人に声をかけ合って会員の増強に力を貸して頂きたいと訴えた。

次に美しい日本の憲法をつく

る国民の会が昨年末設立され山梨県においても県民の会を設立しなければならず賛同者の増員を強力に推進することをお願いした。続いて秋山神政連山梨県本部議長が議長に就任し事業報告・会計報告・次年度の計画案等を可決し議事が終了した。引き続き全国横断キャラバン隊からの国民運動提起があり、ビデオ鑑賞や隊長からの詳細な説明があり質疑応答の後、小尾副会長の閉会の挨拶で盛会に終了した。

山梨県本部は神社庁の強力なご支援ご協力の基に成り立っています。改めて感謝し総会のご報告といたします。



まんが古事記

うみさちやまさち (第一話)



「全国神社保育団体連合会」提供

問い合わせ 東京都渋谷区代々木一―一―二

電話 ○三―三三三九―八〇―一―一

本社本庁内

一冊 一二〇円



お子さん、お孫さんと、
神話の世界をお楽しみ下さい。

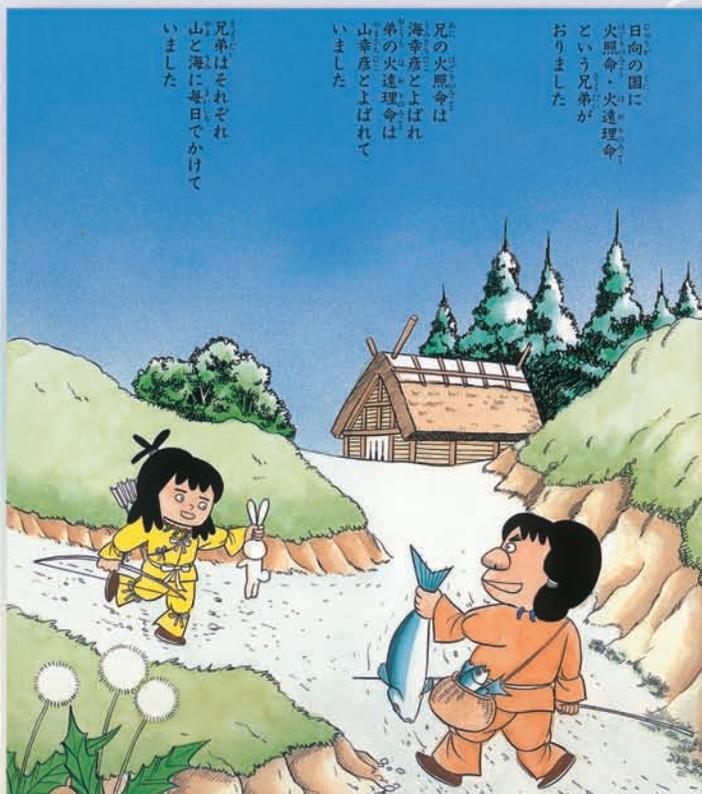
あらすじ

日向の国に、海幸彦・山幸彦という兄弟がおりました。海幸彦は釣りを、山幸彦は狩りを毎日していました。

あるとき、山幸彦はお兄さんの釣りばりをかけて、海に釣りにかけていきましました。

山でえものをとるようには、どうしてもうまくいきません。ついには魚に、お兄さんが大切にしていた釣りばりをとられてしまいました。

こまった山幸彦は、綿津見神の宮殿にむかうのでした。



日向の国に
火照命・火遠理命
という兄弟が
おりました

兄の火照命は
海幸彦とよばれ
弟の火遠理命は
山幸彦とよばれて
いました

兄弟はそれぞれ
山と海に毎日かけて
いました



たまには
魚つりをして
みたいなあ
そうだ！
お兄さんに
たのんでみよう

きょうは
おたがいに
どうぐを
とりかえて
みませんか

わたしは
海がすき
だから
だめだ！

ほんとに一度
だけですら
わたしを魚つりに
いかせてくれま
せんか……!!

うーん
しかな
ないな
じゃ……
ほんとに
一回だけ
だぞ！

ワイ
お兄さん
ありが
どう





(二七二号 第二話へ続く)

山梨県神道青年会報告

会長 藤原 永 起

本年は大東亜戦争終結七十年、北方領土不法占拠七十年、神宮におかれましては三月の風宮奉幣を以て第六十二回神宮式年遷宮恙なく全て齋行されるなど節目多き年であります。また、当会では本年九月を以て創立六十五周年と、この幾重もの節目を迎えながら我々青年会員は共に切磋琢磨し次代へと継承する活動しております。

二月十八〜二十日沖繩甲斐の塔に於きまして当会副会長創立六十五周年事業委員長、遠藤倫生を齋主として慰霊祭を齋行して参りました。

五月二十一〜二十三日に亘り、周年事業遷宮啓蒙活動の一環として一般の方々を引率し、十九名にて神宮へ参拝して参りました。昨年の事業、神宮日帰り参拝を元に綿密に企画し、県内氏子青年会を始め次代を担う若い世代の方々を神宮参拝へお連れしたこの事業は、充実した満足のいく参宮であったと参加した方々からお声を頂きました。遷宮により御神揚益々

となつた神宮の雰囲気改めるとその「ありがたさ」を感じました。

五月十四日に朝氣熊野神社にて交通安全祈願祭を齋行致しました。

また、五月三十日には宮城県岩沼市に於いて、瓦礫を活かす森の長城プロジェクト主催の植樹祭に参加して参りました。

今後の活動と致しましては、八月に富士山登拝事業、九月に周年奉告祭並びに戦災殉難者慰霊祭、十月に北方領土早期返還祈願祭を執行う予定であります。明年三月二十二日には、甲府常磐ホテルにて創立六十五周年記念式典を開催致します。関係各位の皆様へご案内させて頂きますので、多くの御臨席を賜りたく存じます。



女子神職会

祭式研修に参加して

会員 福住 春子

平成二十七年六月二十六日(金)、女子神職会祭式研修会が山梨県神社庁二階神殿にて、神社庁祭式講師桃井一祝先生のご指導のもと行われました。

私は、女子神職会の祭式研修会には初めての参加ですが、女子神職会の皆様方と仕事の都合で交流も出来ず、普段から申し訳なく思っておりましたところ、今回の祭式研修のご案内を頂き繰り返し合わせ参加することが出来ました。研修中、桃井先生を始め諸先輩、同僚の皆様から親切な御指導等を頂き感謝しております。

午前中は基本作法、午後は神饌の献撤の作法や有職故実を交えながらの講話をして頂きました。また質問に対しても懇切丁寧なご指導を頂きました。支部の祭式研修と違い、女性のみの研修であった為、女子神職独特の動作と作法を改めて見直す事が出来ました。

日本には、年間を通しての年中行事と人生儀礼、それに付随

する多くのしきたりが存在します。そこから儀式が生活に結びつく時代になった時、作法が生まれ、儀式を行う手順、必要な道具、祈りの捧げ方が出来、儀式から生まれた作法は儀式だけでなく日常生活にまで及んでいます。

教本の中にも「先人は『ころはかたちをもとめかたちはころを進める』信心のころを祭祀といふかたちで表現し、祭式の執行には明るく清らかな信心の真心と流麗で美しい作法が要求される」とあります。

今回の研修でも土地柄や一社の故実による様々な祭式があることや祭祀の時の心得を学び祭式研修の重要性を改めて感じたところであります。



山梨県神職保護司会報告

神職保護司 上文司 厚

保護司は、法務大臣から委嘱された民間ボランティアで、非行少年や犯罪者の改善更生を助けるため保護観察や生活環境調整等を行い、更に犯罪予防活動を行うことを職務としている。全国には約四八〇〇〇名、内山梨県には約四七〇名の保護司がいる。また全国神職保護司会という組織があり、山梨県にも根津庁長が会長の山梨県神職保護司会があり、十二名の会員で構成されている。

平成二十七年六月二十五日・二十六日に山形県鶴岡市の温泉



温泉「萬国屋」で第二十六回全国神職保護司会総会が開催された。本県からは根津会長、望月久男名誉会長、内藤佑介副会長、佐々木高仁副会長、石原鎮事務局長、私の六名が出席した。開

会儀礼の後開議となり各種議案が審議された。総会後は宮城県出身の保護司、大沼えり子さんの「一掬いの水 今、私たちがなすべきこと」と題した講演に移った。作家でありシンガーソングライターでもある大沼さんは、生業の割烹の若女将の仕事の合間に、北海道、東北地方にある三つの少年院に向けての院内放送をディスクジョッキーとなつて制作し贈り続けている。自らの経験を惜しみなく且つ立て板に水のごとくに語る講演は実に臨場感があり、その迫力に圧倒された。その夜は懇親会が開かれ、地元の古典芸能「五十川神楽」の清興が模様され、宴となり、全国の会員に知れ亘っている望月名誉会長の軽やかな踊りで最高潮に盛り上がり、互いに誼を深めた。

二日目は鶴岡市立加茂水族館を見学した後、出羽三山神社に正式参拝した。参拝後の宮野宮

司の講話は神仏混交を中心とした歯に衣着せぬ面白い話は予定の一時を超えた。同神社齋館での精進料理の昼食後に解散となり、山梨県一行は独自の日程

山梨県氏子青年協議会報告

会長 酒 井 宏 知

去る六月十四日、北口本宮富士浅間神社にて山梨県氏子青年協議会総会が開催されました。

これに先立ち、研修事業を数件実施いたしております。

氏子青年会の研修として山梨県神道青年会主催の伊勢神宮特別参拝行事に参加。二見興玉神社から始まり、外宮・内宮の正式参拝や移動中の伊勢神宮に関するレクチャーなども行つていただき大変有意義な参拝となりました。

また関東の連絡協議会の活動も盛んになり、前年度、茨城県の鹿島神宮で研修会がスタートいたしました。県からも数名この研修会に参加いたしました。

総会開催の前に北口本宮富士浅間神社氏子青年会でも研修事業として本年新しくなりました

に入った。二泊目は福島市の穴原温泉に宿泊し、二十七日は丹治正博福島県神社庁長の奉務神社、福島稲荷神社に正式参拝をし帰路に就いた。

富士吉田市歴史民俗資料館の見学を実施。稲積神社崇敬青年会では靖國神社への特別参拝事業を計画するなど、各単位会でも活発に活動を行っております。

本年は戦後七十年の節目となる年にあたり、神社界でも戦没者慰霊の活動や神道政治連盟の活動も活発化しており、山梨県氏子青年協議会も積極的に活動に参加してゆきたいと考えております。

県内外の活動が活発となつている中、総会の議題となりましたが、一単位会が全国及び山梨県連の休会が決定いたしました。寂しい限りではありますが、残った単位会の親睦を深め、少数精鋭で山梨県の氏子青年会を盛り上げてゆくこと、そして県内神社で氏子青年の集いなどがあれば氏子青年会の理念を説明してゆくことを決議し、大変有意義に会議を締めることができました。

祭典を斎行して

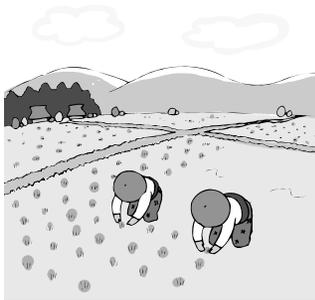
住吉神社

宮司 志 村 幹 人
お田植え祭



「神の田植に目に立つものは並ぶ乙女の花の笠」田植歌に合わせ早乙女頭等の先導により氏子地区内の少女達、浴衣、袴、手甲、脚半に花笠姿の早乙女により伝統にのっとり御田祭が今年も斎行された。住吉神社の御

田祭は現在地に御鎮座以来四百年も続く祭りである。又御祭神の神功皇后様が国民に広く田作の業を押し広めた御功績を讃え、感謝を込めて連綿と続けられて来た祭りである。住吉神社の氏子地域は農工商の複合地域である。御鎮座地域は田園地区であるので尚更に神様の御恵を頂き稲が豊作でありますよう祈りを込めて祭りを継承して来た。命の根である稲作の業、神の手振を絶やすことなく後世にと思いつつ祭りを斎行す。



駒ヶ嶽神社

宮司代務者 今 橋 武

開山祭

七月一日、甲斐駒ヶ岳の開山祭が駒ヶ嶽神社で行われました。当社は、文化十三年（一八一六年）信濃の國茅野の小尾権三郎（御開山）が幾多の困難を克服し険峻なこの山に初めて登山の途を開かれた事から始まり、神仏習合が色濃く残る神社で開山二百年になります。

当日は前日より入山した青年崇敬者達による頂上本社の清



掃、紙垂、供物の裝飾、拝礼を行い下山しました。

山元の本社（当社では前宮という）では総代、崇敬者達が登山道を二時間程登った処まで草刈整備をし、来たる登山シーズンに、備えました。

午後二時、登山道を整備した人達が下山してきますと、祭典の始まりです。駒ヶ嶽神社の祭神、大己貴命、御開山（威力大聖不動明王）、諸神、霊神に、十月一日（閉山祭）までの間、先人の教えを護り、大きな禍が無く安全に登山が出来ますよう祈念して開山祭を終了しました。

近年は、神社関係者の高齢化により、登山を修行の一貫として捉える方が大変少なくなり、私も一年に二度程登りますが、小人数での登山が多くなり、真に残念でなりません。

今後は中高年の登山の方が増加している中、崇敬会の入会者を募集し後継者を増やす手立てを考えております。

支部だより

甲府支部

神宮夜間参拝

支部長 小 山 利 行

甲府支部では、先日六月三日四日の両日研修旅行という事で神宮夜間参拝を取り行つた。神社庁発行の暦を参照して頂くとわかりますが六月三日は「○望」と記されていて満月の日でした。何故この日を選んだかという、ふとした事で神宮第一の祭儀である神嘗祭は、明治初めての改暦まで旧暦九月十七日に齋行されていた事を知ってからです。十五日夕刻外宮の夕御饌、翌十六日午前二時朝御饌同日夕刻内宮夕御饌、翌十七日午前二時朝御饌が供される形が永い年月に渡り守られていた。暦で調べるとそれは満月の下であった。時を計るは太陽の動きで知り何時神事を行うかは月の動きで計っていた。明治の改暦以降は暦でなくカレンダーで日程が決定され、神宮当局も明治政府の指示の下、旧暦の神嘗祭に最も近い形の現行十月十七日を新

しい神嘗祭とし旧の日程の九月十七日を残すために大暦頒布始祭を新暦九月十七日に齋行し、歴史を残そうとした。

今年の神社庁の暦では十月十三日が新月で旧九月一日で十七日は、三ヶ月くらいになります。

旧暦の神事の環境は、丁度真上から月光が差す時間帯です。神嘗祭の昔の形を拝する事は正にむずかしい事ですが、満月の光が神域を真上から照らす内宮御正宮は、今日でも拝する事ができるのではないかと、又先人が何故それを選び齋行されていたのかは我身をそこに置けば何か受継ぐ事ができるのではないかとという意図でした。

今回は三月頃より神宮と打合わせこの日程を選択いたしました。丁度、週間予報は雨という事で、不運と思いましたが、参拝の時間だけ雨がやみ、雲間がすこし切れ無事に終了する事ができました。一度の企画ではそう簡単には教えないぞという先人の意図が感じられる研修でした。皆様も暦を参考に夜間参拝で先人達のDNAを感じてみませんか。

峡北支部

親睦ゴルフコンペ

事務局長 篠 原 敬 逸

事の発端は支部の各種会議、懇親会、神宮新穀感謝祭旅行などで神職、総代、氏が集まる度にゴルフの話題で持ちきりになり、それでは有志を募って始めましょうという事である。支部、総代会としての公式行事では無いが、中田欽哉会長をはじめ、森越支部長、石原副支部長を筆頭に徐々に声掛けを広め参加者を集めたのだが、やはり様々な事情や仕事で参加意思があっても行けないという人達も含めるとかなりの人数になる。始まりの第一回は平成二十五年六月に行われ、会費も何もなく純粹にゴルフを楽しむ会であった。今回は第五回という事でプロゴルフの試合が近々開かれる「ヴィンテージゴルフ倶楽部」にて六月十五日に二十名五組の参加で開催された。当日は梅雨の中休みとなつて晴天、気温三〇度近い中でのコンペとなった。普段の神職は白衣、袴。総代、氏は背広にネクタイという畏まった姿で出会うのだが、

今日ばかりはお洒落で艶やかなる見慣れない姿での集合となった。開会式、ルール説明の後に各スタートとなったが、各組昼食時にクラブハウスで合うと端から「グリーンが硬くて速くて難しい」と落ち込んだ表情になる。私もゴルフ歴は長いのだが、このようなコース設定は初めてである。良いスコアが出るわけがない。しかし、親睦ゴルフなので和気あいあいと楽しく過ごせた。成績はともかくとしてこのコンペは他神社の神職、氏子さん達とごちゃ混ぜにしてグループを組み楽しく過ごす事が大事である。次回も大勢の方々にご参加を頂き盛大に開催する事を約束し解散となった。



敬神功労章の榮に浴して

峡南神社総代会 会長 笠井義仁

この度、平成二十七年春の敬神功労章・有功章を頂きました。これもひとえに、西島浅間神社望月久男宮司様をはじめ多くの関係者の皆様のご指導のお陰と心より感謝申し上げます。また、浅間神社の百二十数名の崇敬者の皆様のお力添えのお陰と心より感謝申し上げます。

授与式は、平成二十七年四月二十四日、神社本庁において挙行され、功労章四名と功労章・有功章四十五名が出席しました。私は、祭事には、いつも陰の力となってくれた妻と二人でこの席に臨みました。

授与式は、神社本庁神殿において挙行され、神事後、神社本庁の統理様より一人一人に授与されました。

授与式の後、本庁玄関前で記念撮影が行われ、青葉滴たる明治記念館のホールにおいて洋食による直会が行われました。席上の多くの方々からお祝いの詞をいただき、楽しいひとときでした。

私が神社（神事）に奉仕を始

めたのは、二十歳のとき、西島の祭りのすべてを中心となって取り行う祭祀部という若い衆の一員となったときからでした。三十歳のとき名誉ある祭祀部長となり、その後、神社総代当番、祭典委員長、神楽団相談役など西島の祭典には多くかかわってきました。

また、先祖代々努めてきた、浅間神社の代表を若くして引継ぎ、百二十名の崇敬者の先頭に立つて毎年の例祭、江戸時代より行われてきた富士講の復活などを行って参りました。

この度いただきました榮譽に感謝しつつ今後とも微力を尽して参りたいと思います。



今後の予定

「第十五回神社関係者囲碁大会」

神社関係者の親睦を深め、併せて青年の健全育成を図る目的を以て囲碁大会を開催致します。

主催 山梨県神社庁
主管 山梨県教育関係者神職協議会
後援 山梨県神社総代会、山梨日日新聞社、山梨放送

日時 平成二十七年八月十二日（水）
午前九時

会場 山梨県神社庁
参加資格 一般の部 神職・総代・氏子崇敬者
青少年の部 小中学生（各部門一〇名程度）

参加費 一般の部 一団体五、〇〇〇円
申込期日 七月二十八日（火）まで
申込先 山梨県神社庁
※問い合わせ先
高野 英夫 〇五三・四四一・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四一・二三〇三

「全国神社総代会大会」

全国各県の総代が一同に会して、総代としての意識の高揚、情報の交換を通して、神社界の更なる発展を図ろうとする大会です。今年は滋賀県での開催一泊二日での研修旅行を計画しております。

大会日時 平成二十七年九月十日（木）
午後零時半開会
会場 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
研修旅行 平成二十六年九月十日（木）
十一月（金）
旅行費用 三五、〇〇〇円程度を予定
「山梨県神社庁顧問参与会」

日時 平成二十七年九月二十九日（火）
午後三時
場所 ホテル談露館

「神宮大麻磨旗布始祭」

日時 平成二十七年九月二十九日（火）
午後一時
場所 山梨県神社庁 神殿

「全国敬神婦人大会参加旅行」

全国各県の敬神婦人連合会が一同に会して、意識の高揚、情報の交換を通して、神社界の更なる発展を図ろうとする大会です。

日時 平成二十七年十月五日（月）
七日（水）

場所 青森県（大会会場 青森市文化会館）
参加費 九五、〇〇〇円

「山梨県神社関係者大会」

混迷する時局に鑑み神職総代相共に神社神道の昂揚に邁進し、以て地域の平安・活性化と国の隆昌に寄与致したいと存じます。何卒万障御差練り御参加下さいませよう御案内申し上げます。

日時 平成二十七年十月三十日（金）
午後一時三十分
場所 コラニー文化ホール（山梨県立県民文化ホール）大ホール

内容 第一部 式典
第二部 講演 講師「舞の海秀平」
「新穀感謝祭」

ご近所の方、ご友人などお誘いの上御参加下さい。

日時 平成二十七年十一月十六日（月）
十七日（火）（一泊二日）

神宮では御垣内にて特別参拝、神楽殿での御神楽の奉奏が執り行われ、「干支の飾り皿」が参拝記念として撤下されます。

宿泊ホテル、行程、参加費は支部によって異なります。支部役員・神社宮司にお尋ね下さい。

支部総代会報告

峡南支部総代会総会

日時 五月九日(土) 午後一時

場所 中富総合会館

東八代支部総会

日時 五月十七日(土) 午後二時

場所 浅間神社

峡北支部総代会総会

日時 五月二十一日(木) 午後三時

場所 魚光会館

峡中支部総会

日時 六月二十六日(金) 午前十時

場所 櫛形生涯学習センター

今後開催予定の支部総会

北都留支部総代会総会

日時 七月二十二日(水) 午後一時

場所 大月市民会館

甲府支部神職総代会合同総会

日時 七月二十二日(火) 午後一時

場所 アピオ甲府

峡北支部通常総会

日時 八月五日(水) 午後三時

場所 魚光会館

東山梨支部総会

日時 八月二十八日(金)

場所 山梨市民会館(予定)

南都留神社関係者大会

日時 十月二十二日(火)

場所 ハイランドリゾートホテル&スパ

祭典日程

7・31 千塚八幡神社禊祭(一日) 御崎神社みそぎ祭 北杜市長坂町建岡神社夏越祭

8・1 都留市石船神社夏祭

8・8 忍野浅間神社忍野八海祭

8・9 七保町瀬戸春日神社例大祭

8・11 富士山小御獄神社例祭

8・13 山梨縣護國神社みたま祭(十五日)

8・15 山梨縣護國神社戦没者追悼式 大月市畑倉春日神社例大祭

8・19 上野原市諏訪神社祭り

8・20 石和八幡宮撰社祭(二十日祭)

8・23 南アルプス市巨摩八幡宮三社合同祭

8・26 昭和町西条義清神社例祭 南アルプス市飯野若宮神社灯籠祭

8・30 北口本宮富士浅間神社鎮火祭(二七日)

8・31 富士河口湖町白山神社例大祭

9・1 都留市生出神社八朔祭

9・5 上野原市牛倉神社神幸祭 大月市猿橋町三嶋神社例大祭 大月市鳥沢福地八幡神社例大祭

9・6 甲府市東光寺山八幡神社例大祭 上野原市牛倉神社例大祭 上野原市鼓楽神社祭り

9・7 上野原市惣祖神社秋例祭

9・9 勝山富士御室浅間神社秋季大祭(神輿祭)

9・12 大月市諏訪春日神社秋例祭 大月市花咲稲村神社秋祭 初狩町八幡神社秋祭

9・13 甲府市宮前八幡神社例大祭 大月市浅利神田神社秋祭

9・15 富士吉田市上暮地神明神社例大祭 忍野村内野浅間神社八幡神社例祭 甲府市飯田八幡神社秋季例大祭

9・18 船津八王子神社例大祭(神幸の儀)

9・19 船津簡口神社例大祭(神幸の儀)

9・21 下吉田小室浅間神社流鏝馬祭り 忍野浅間神社末社諏訪神社例祭・秋季大祭(二十日)

9・22 都留市田野倉三嶋神社例祭

9・23 山縣神社前夜祭

9・25 一宮町橋立甲斐奈神社秋季例祭 山縣神社例大祭・大式学問祭 北杜市白州町白州若宮八幡神社例大祭 大月市駒橋三嶋神社秋祭

9・27 北杜市高根町熟那神社例祭

9・29 玉諸神社撰社秋葉神社祭

9・30 朝気熊野神社例大祭(四日)

10・3 甲州市勝沼町雀宮神社例大祭

10・4 北杜市小淵沢北野天神社例大祭 北杜市高根町長沢船形神社例大祭(秋)

10・5 山梨縣護國神社秋季例大祭

10・8 穴切大神社秋季例大祭(宵祭)

10・9 穴切大神社秋季例大祭 北杜市大泉町逸見神社秋祭

10・10 北杜市穴山町穂見神社秋季例祭

10・11 北杜市長坂町穂見諏訪十五所神社秋季大祭 北杜市穴山町御名方神社秋季大祭 北杜市三郷町宮原浅間神社秋季例祭 市川三郷町国母船形神社例祭(神楽祭) 甲府市国母船形神社例祭 身延町下山一宮賀茂神社例大祭 石和町佐久神社例大祭 塩山熊野神社例大祭 鵜沢八幡神社秋季例大祭

10・12 山梨市下栗原大宮五所大神秋季大祭

10・13 北杜市武田八幡宮例祭

10・14 八代町北熊野神社秋季例大祭(五日)

10・15 身延町下山一宮賀茂神社例大祭 市川三郷町宮原浅間神社秋季例祭(神楽祭) 北杜市武田八幡宮例大祭 鵜沢八幡神社秋祭 塩山竹森玉諸神社例祭

10・17 石和八幡宮秋季例祭 下部熊野天神社秋季例大祭 上於曾留田天神社例大祭 石和町比枝神社例祭

10・17 柴宮神社例祭 酒折宮例大祭 千塚八幡神社例祭並慰霊祭 一宮町末木両之木八幡宮秋季例祭 船津八王子神社参籠祭 船津簡口神社参籠祭 新屋山神社例大祭 富士吉田市諏訪内山神社例大祭 北杜市大草町南宮大神社秋祭(新嘗祭) 甲府市宮原宇波刀神社秋祭 北杜市武川町三富貴神社秋季例大祭 身延町帯金八幡大神社例大祭 南アルプス市上今諏訪諏訪神社例祭前夜祭

10・18 南アルプス市巨摩八幡宮例祭 山梨市大工天神社例祭 甲斐市富竹新田神明神社例祭 甲斐市長塚神社例大祭(秋季) 市川三郷町城山神社秋祭 甲府市上石田三社諏訪神社秋祭り 南アルプス市上今諏訪諏訪神社例祭

10・19 桐原軍刀利神社秋祭 忍野村内野浅間神社天狗社例祭 富士河口湖町白山神社紅葉祭